

イノベーション創出の拠点

KU-CIC

イノベーション創生センター

Kansai University
Center for Innovation &
Creativity

NEWSLETTER

C O N T E N T S

Open Lab

研究室のイマ

化学生命工学部／上田 正人教授

Portrait

未来を担うイノベイタース

タツタ電線株式会社／岩井 靖氏・高橋 章郎氏

関西大学大学院 理工学研究科 博士課程前期課程

嶋内 友哉さん・信岡 祐哉さん

News & Topics

イノベイターストーク

起業サポートシリーズ

企業見学会シリーズ

ビジネスアイデアコンテスト“SFinX2024”

今後のイベントスケジュール

2025年度関西大学GAPプログラム募集開始!

入居ベンチャーの活動報告

「Mission Lounge」活動報告

編集後記

海の森を育てる。



**KANSAI
UNIVERSITY**

Open Lab

研究室のイマ

チタンを利用してサンゴ礁を効率よく増殖 再生医工学がカーボンニュートラルに貢献

関西大学 化学生命工学部化学・物質工学科 上田 正人教授
株式会社イノカ 取締役CTO(Chief Technology Officer)

関西大学カーボンニュートラル研究センター センター長 ※2024年10月1日就任予定／博士(工学)

サンゴ礁は、ブルーカーボンの主役 同時に、生物の多様性を守る恵みの源

いま私たちの研究室で取り組んでいるのは、「再生医療技術を利用したサンゴの高効率増殖」です。地球温暖化を防ぐ「カーボンニュートラル」を実現するには海、なかでもサンゴ礁の役割が大きいと考えています。大気中と海水中の二酸化炭素(以下CO₂)の量は平衡が保たれています。海洋生物の光合成などにより、海水中のCO₂が減れば、それは大気から補われます。つまり、海がCO₂を吸収すれば大気中のCO₂は減少するのです。

この海洋やその生態系に由来する炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、約4割がアマモなどの海草や、コンブやワカメなどの海藻の光合成によって吸収されています。また、サンゴも効率よくCO₂を固定化します。1tのCO₂を森林が1年で吸収するには杉の木約70本、約350㎡もの面積が必要です。一方、サンゴなら同量のCO₂を固定化するのに25㎡で済むという試算もあるほどです。同時に、サンゴ礁には9万種にも及ぶ生物が棲み、その環境はさらに50万種の命を支える恵みにもなっています。サンゴ礁の減少はまさに地球環境の危機、喫緊の重要課題となっているのです。

骨とサンゴの骨格形成の共通点がヒントに 生体にチタンを馴染ませる研究が活きた!

なぜ「高効率に増殖」できるのか?順を追って説明します。まず、ここでいう再生医療技術とは、「チタンを使ったインプラント(体内に埋め込む医療器具・材料)技術」です。インプラントと言えば歯の治療を想起しますが、人工関節置換術などもそうで、その多くはチタンが使われています。もともと私はバイオマテリアルや再生医工学が専門で、チタン製インプラントを生体に馴染ませる研究を行ってきました。ヒトの体は異物が侵入すると排除反応を起こします。ところがチタンは、生体の中でも化学的に極めて安定で、



異物として認識されにくい性質をもっています。そのようなチタンの表面を適切に制御し、骨をつくる「骨芽細胞」にチタンが生体骨であると誤認識させ、骨を早期につくらせる方法を開発してきました。

2015年、サンゴ礁再生の研究グループから海中で使用できる金属材料の相談を受け、その中で私は、骨とサンゴの形成過程が似ていることに気がつきました。骨は、骨芽細胞が産生したコラーゲンにリン酸カルシウムが沈着・結晶化することで形成されます。一方のサンゴは、骨格表層に密着している「ポリプ」という軟組織に存在する「造骨細胞」から分泌された有機基質に炭酸カルシウムが沈着して骨格を形成します。物質は異なるものの形成メカニズムは同じです。実際に、表面に骨形成促進効果を付与したヒト用チタン製インプラントをサンゴにインプラント(ここでは、接触)すると、その表面にポリプが旺盛に拡張することがわかりました。

チタン製インプラントの表面に
拡張したサンゴの軟組織・ポリプ



チタンだから早く増えるのではなく 1回で大量の発生起点をつくるから 効率良く増やせる

では次に、なぜ高効率で増殖できるのかを説明します。通常、サンゴを増やす際には、そのほとんどが「断片移植」という方法です。これは、サンゴから採取した5～6cm程度の断片をモルタルなどの着床具に固定して増やす方法です。しかしこれだと1回の移植で増やせるのは1つです。私たちは、同等のサンゴ断片から200～300個の「発生起点」をつくる技術の開発に成功しました。

サンゴの表面にある骨格を作り出す軟組織・ポリプは水温上昇などのストレスに晒されると、サンゴ骨格から剥離・脱離してしまいます(ストレス回避反応)。これはサンゴの白化現象と同じく「悪いこと」のように思われますが、再生医療の観点からすれば、剥離・

脱離した方が扱いやすい。ストレス回避反応を人工的に誘発して、サンゴ片から剥離・脱離したポリプを採取し、それをチタン製のサンゴ増殖基盤に固定化することでサンゴを増殖する手法を開発したのです。

時折、「チタンを使うと成長が早いのか」という質問もいただきますが、そうではありません。1回の移植作業で200～300個の発生起点を作り、同時多発的に増やすことができる、それが高効率の真の意味です。

再生医工学とサンゴ礁研究は表裏一体 すべての学びに無駄はない

この研究には海洋実験が不可欠です。ですから、ダイビングの資格も取りました。沖縄や鹿児島・与論島との協力体制も築くため、地元の方と懇親を深めました。そしてこの研究を縁に、水槽内にさまざまな海洋環境を再現する技術を持ち、企業の環境保護活動を支援するスタートアップ企業・株式会社イノカの最高技術責任者に就任しました。そのイノカは、いまこのCICにもラボを構え、西日本エリアでの活動を活性化させています。

ここまで話せば、もはや私はサンゴ礁の研究がメインテーマになったように思われるかもしれませんが、そうではありません。すべての学びに無駄はない。私にとっては、再生医工学とサンゴ礁研究は表裏一体。どちらが欠けても成り立たない。二つあるからこそ相乗的な成果が生まれるのです。



ココがスゴイ



●実体顕微鏡

実体顕微鏡は、肉眼でも確認できる物体をより拡大して観察する際に使用する。接眼レンズと観察対象の間にスペースがあり、さまざまな角度から観察対象を立体的に拡大。鉱物などの構造や形状を高い解像度で観察することができる。この装置は蛍光イメージングも可能。



上田 正人教授
Masato Ueda



1998年3月	関西大学 工学部材料工学科 卒業
2003年3月	大阪大学大学院 工学研究科博士後期課程 修了
2003年4月	大阪大学大学院 工学研究科 助手
2007年4月	関西大学 化学生命工学部 専任講師
2010年4月	関西大学 化学生命工学部 准教授
2010年9月	英国ケンブリッジ大学 客員研究員
2017年4月	関西大学化学生命工学部 教授
2022年6月	株式会社イノカ 最高技術責任者(Chief Technology Officer)
2022年10月	関西大学カーボンニュートラル研究センター 副センター長
2024年10月	関西大学カーボンニュートラル研究センター センター長 就任予定

山本教授の研究×タツタのコア技術で 次代の新産業を生みだしたい

▶ 新サービスの「マゼラボ」とは、「混ぜるラボラトリー」 素材開発の期間短縮や製品特性の向上に貢献したい

高橋 2024年3月、私たちタツタ電線はCICにラボを開設しました。ここでのミッションは新規事業開発です。現在、分散ソリューション提供サービス「マゼラボ」の事業開発に取り組んでいます。

岩井 当社は、社名の通りケーブルメーカーです。ビルや住宅、ロボット、鉄道、プラントで使われる産業用のケーブルなどを作っていますが、今の会社の柱は電子材料事業です。この事業では電線づくりで培ったコア技術を活かして、電子材料の導電性ペーストを開発しました。それをもとに、スマートフォンなどのモバイル端末に欠かせない「電磁波シールドフィルム」の開発に世界で初めて成功し、圧倒的な世界シェアを持っています。電線づくりで培ったコア技術とは「分散・混練技術」です。電線をつくるには、さまざまな材料の中から用途に応じて最適なものを組み合わせて配合し、ムラなく均質に混ぜ合わせる必要があります。それが分散と混練です。電磁波シールドフィルムは、その技術がなければ生まれませんでした。

高橋 新規事業の「マゼラボ」という名前は「混ぜるラボラトリー」を意味しています。実はこうした素材構造開発のニーズは高く、成長が見込まれるマーケットです。例えば、環境負荷を減らす素材として生分解性ポリマーが注目されていますが、従来のプラスチック同様の性能を出すには、無数の物質から候補を選んで混ぜ合わせ、膨大な時間を使ってトライ＆エラーを繰り返さなければ、良い結果は見つかりません。「マゼラボ」は、そうした素材開発を必要とする企業のニーズにあわせて、コンサルテーション・開発・製造を一気通貫でソリューション提供するサービスです。現在、化学工業製品、食品、化粧品、医薬品などの企業に案内を始めています。

岩井 当社がCICにラボを開いた理由は、関西大学に山本秀樹教授（環境都市工学部）がいらっしゃるからです。山本教授は「凝集エネルギー密度」の研究、言い換えると、物質同士の「相性」を確認する方法を研究されています。凝集エネルギー密度とは、単位体積当たりの凝集エネルギー密度を表す物性値のことです。物質間の相溶性（溶けやすさ）や微粒子の溶媒中での分散性（均質度）を評価する際に応用することで、膨大なトライ＆エラーをしなくてもよくなります。

高橋 山本教授は、すでに3000種以上の物質特性をデータベース化しています。これまで勘や経験に頼る部分が大きかった当社の分散・混練に、科学的知見を加えることで、開発期間の短縮や製品特性の向上に貢献できると考えています。

▶ 会社にもスタートアップマインドやアントレプレナーシップは必要 大切なのは、やってみる、諦めない、同じ志の仲間をつくること

岩井 私たちの挑戦は、製造業が抱える経営の不確かさを軽減することです。製造業の浮き沈みは激しく、いま売れているモノもやがて陳腐化して売れなくなります。会社を続けるためには、スタートアップマインド、アントレプレナーシップが必要です。私はエンジニア出身ですが、そうしたミッションを担い会社にとっての次の何かを見つけるために、アメリカでも数年仕事をしました。そうしてたどり着いたのが、この「マゼラボ」です。私たちはこの事業を「製造業によるコト売り」と称しています。タツタ電線はメーカーなのでモノを作り、売るのが生業ですが、マゼラボで、コア技術やノウハウを活用したサービス＝コトを提供するので。

高橋 山本教授には、長年に渡って顧問として凝集エネルギー密度に関してご指導頂いておりましたが、我々の新規プロジェクトには欠かせない技術であり、プロジェクトの成功には山本教授との関係性を強化することは必要不可欠と判断し、この度、関西大学にラボを置くこととしました。まだ稼働して間もないですが、実際に対面での打合せの頻度も上がり、関係性も強化された実感しております。

岩井 このラボから日本の次代を担う新産業を生みだす。そんな気概で臨むつもりです。最後に、起業を考えている人にアドバイスを贈るとするならば、やりたいものを見つけること！ やってみること！ 諦めないこと！ 何よりも同じ志を持つ仲間をつくること、だと思います。

乗り物の安全や生活を支える家電 社会に役立つ研究開発に挑みたい

▶ 摩擦発電を利用したサステナブルな独自の技術 乗り越えねばならない壁は、耐久性と電力量の向上

嶋内 幼少期に交通事故に遭い、それをきっかけに車の安全性に興味を持ったのが僕の原点です。いまは「インテリジェントタイヤ」の研究に取り組んでいます。タイヤの回転摩擦で発電して、その電力を使ってタイヤに搭載したセンサーを動かし、摩擦度を測って車の安全性向上に貢献する。インテリジェントタイヤの開発は、タイヤメーカーも既に取り組んでいます。摩擦発電による電力は使いません。

信岡 僕がめざしているのは、摩擦発電を利用したウェアラブルデバイスの開発です。具体的には靴。靴底に摩擦発電フィルムとセンサーを埋め込み、例えば認知症患者の居場所を特定し、徘徊による危険を軽減する。小さい頃からこうした生活に密着したモノを作りたいかった。だからこの研究を選びました。

嶋内 タイヤと靴。めざしているモノは違うけれど、基本の技術は同じ。共通する課題は「耐久性と電力量の向上」です。現時点のタイヤの完成度は6割程度です。車の完全自動運転を実現するには、タイヤの摩耗量や負荷荷重をモニタリングすることが重要で、摩耗度の計測は左右の偏摩耗を検知できるレベルまではクリアできています。ただし、仮にタイヤの寿命を3万kmだとすると、乗用車なら約1500万回の回転摩擦に耐えられないといけない。いま2万km程度はクリアできているので、ここから先をどう詰めていくか。

信岡 僕が取り組んでいる靴の完成度は5割です。靴に仕込む発電装置は薄いフィルム状のもので、つくるのも簡単。柔軟性も高く比較的安全性も高い。それでも、靴の寿命を1年として1日1万歩歩くと仮定すると、365万回の衝撃に耐えられないといけない。また、難敵は雨です。頑丈さと水に濡れても正確に動く信頼性、さらに高齢者を想定するなら、できるだけ軽くすることも大切な要素になる。

嶋内 そして、共通するもっとも厄介な課題と言えば、電力量の向上ですね。



▲摩擦発電を利用したインテリジェントタイヤ（左）とウェアラブルデバイス（靴）（右）

▶ 企業と一緒に実践的な開発に取り組む環境が整う 人としての魅力が磨かれるのも、関大ならではの！

嶋内 修士課程修了後は、鉄道のブレーキ制御装置などを開発するメーカーに就職する予定です。電車は、駅や時間帯によって乗降者数の増減が激しく、頻繁に車両重量が変わる。ブレーキはその車両重量にあわせて制御をしています。研究してきた車の負荷荷重推定の知見と経験などは活かせると思います。もちろん、新しい領域にもチャレンジしたい。いま日本は生産年齢人口が急減し、多くの現場で自動化が進んでいます。そこには故障を検知するシステムのセットアップが不可欠で、AIの活用も増えています。こうした新しい領域にも挑戦したいです。

信岡 僕は、電機メーカーに就職する予定です。理由は、生活を支えるモノの開発や、暮らしの快適づくりに貢献したいから。担当は空調機的设计開発なので、今の研究とは直接関係ないかもしれないけど。急激に温暖化が進む地球上には、酷暑に耐えながら生活せざるを得ない人が数多くいる。その生活環境を少しでも快適にしたいと思います。大学では、機械全般の知識や技術はもちろん、課題解決に至る論理的思考力やプレゼンテーション力も鍛えられました。

嶋内 そうした人としての魅力が磨かれるのも、文系理系問わずさまざまな学部があり、いろんなタイプの学生と知り合え、教授との距離も近く、研究室にもファミリー感がある関大ならではのと思っています。

信岡 CICでは、いろんな企業と一緒に新しいモノづくりや事業開発、さらにはベンチャー創出に取り組むことができます。最新設備や機器が整っているのも大きな魅力です。積極的に活用・挑戦すれば、充実した大学生活になると思いますよ。

関西大学大学院 理工学研究科
博士課程前期課程

嶋内 友哉さん(左)

兵庫県出身	
2018年3月	甲南高等学校 卒業
2019年4月	関西大学システム理工学部機械工学科 入学
2023年3月	関西大学システム理工学部機械工学科 卒業
2023年4月	関西大学大学院 理工学研究科 博士課程前期課程
2025年3月	関西大学大学院 理工学研究科 博士課程前期課程 修了予定

関西大学大学院 理工学研究科
博士課程前期課程

信岡 祐哉さん(右)

大阪府出身	
2019年3月	大阪府立八尾高等学校 卒業
2019年4月	関西大学システム理工学部機械工学科 入学
2023年3月	関西大学システム理工学部機械工学科 卒業
2023年4月	関西大学大学院理工学研究科 博士課程前期課程
2025年3月	関西大学大学院理工学研究科 博士課程前期課程 修了予定

News & Topics



Innovator's Talk

イノベーターズトーク

起業はもちろん、就職後も必要なアントレプレナーシップ(起業マインド)を醸成するイベント。活躍されている若手起業家や企業内で起業した社会人の経験談や想いから学びます。

vol.33 2024年5月24日
ハイブリッド開催

Ameri VINTAGE
CEO・ディレクター 黒石 奈央子氏

テーマ 就職を選ぶ? 起業する?
自分のキャリアを切り開くために必要なたった3つの方法

ブランドを始める方法、常識に縛られないやり方、キャリアとライフスタイルについて、大学時代からの経験や起業の心構えを語った黒石氏。「自分探しで迷ったとき、外の世界を見ることでチャンスを探ることができる」というメッセージが参加者の心を動かししました。



学生の感想

リスクを考えながらも直感を大事に行動してきた経験を具体的に話していただきとても勉強になった。

世の中の小さなことに疑問を持つことが、起業のきっかけになると知ることができた。



vol.34 2024年6月4日
ハイブリッド開催

日本ふんどし協会
会長 中川 ケイジ氏

テーマ あなただけの道のさがし方
～コンプレックスを燃料に! 自分のキャリアを切り開く～

「くすぶっていた会社員時代について」「理想のキャリアを見つけるワーク」「Q&A」の3部構成からなる今回の企画。コンプレックスを持つことは強みでもある。という中川氏の信念のもと、前に進むために今日からできることは何か?を参加者同士で意見を出し合いました。

学生の感想

「こういう場に来るというだけで行動力がある。質問できるだけで勇気がある。」と言われて、自分でも気づけていない良さに気づかせてくれた。

自分で踏み出すと決めて行動を起こしていたが、さらに前に進む勇気を得た。

起業サポートシリーズ

起業に必要な知識・スキルについてセミナーおよびワークショップスタイルで学びます。

2024年6月27日
2024春学期 スモールビジネスの作り方
商品開発のプロセスを学ぶ実践ワークショップ ～ブックカバー篇～

正和堂書店 小西 康裕氏

国内大手の印刷会社就職するも、苦境にあった家業である書店を再生させるために退職。自身が作成したブックカバーを、SNSを駆使してヒットさせた方法を紹介しました。後半は関大生ならではのブックカバー案を作成。実際に梅田KANDAI Me RISE、生協書籍購買部で配布するまでの一気通貫型のイベントに、会場は盛り上がりしました。



学生の感想

1人では思いつかないアイデアが出来上がったのは、チームのみんなで協力し合えたからだと思っています。



学生の感想

発信量を多くするからこそ、分析できる。というのが印象的でした。媒体によって発信内容、方向性を変えていることも勉強になりました。

企業見学会シリーズ

先進的な取り組みを行っている企業を訪問し、最先端の技術・アイデアが詰まった施設の見学や、社員との意見交換を通して企業の新規事業について学びます。

vol.13

2024年7月3日
株式会社
ガンバ大阪



Panasonic Stadium Suita(パナソニックスタジアム吹田)を訪問。ガンバ大阪が取り組む社会・地域貢献やSDGsの活動、チームの活動を社会に役立てる先進的な工夫などについて学びました。

学生の感想

具体的な地域とのつながりやイベントについて話をされていて、他社や地域と支え合う繋がりを知ることができました。



学生の感想

「夢を逆算して考える」という言葉を胸に、今大学二年生ですが、やりたいことを諦めず未来を変えていきたいと思いました。



〈主催〉イノベーション創生センター 〈特別協賛〉 **DAIDO** 大同生命保険株式会社

ビジネスアイデア
コンテスト

SFinX2024

8月6日、イノベーション創生センターでは、アントレプレナーシップの醸成を目的とし、本学理工系学部の研究成果をいかに事業化するかを競うビジネスアイデアコンテスト“SFInX2024”最終審査会を開催。3月の技術説明会に始まり、中間発表会、事前相談会と約半年近くをかけて取り組みました。技術提供した教員と外部審査員、計7名による厳正な審査のなか、エントリーした8チーム38名の関大生がそれぞれの視点で社会課題をとらえ、熱いプレゼンを繰り広げました。

課題技術

技術①

総合情報学部 瀬島 吉裕 教授

非言語情報に基づく場の盛り上がり推定技術



ヒューマンロボット
インタラクション
研究室

技術②

環境都市工学部 豊田 政弘 教授

立体音響再生技術



建築環境工学
第1研究室

技術③

化学生命工学部 河村 暁文 教授

細胞の構造に学んだ油をはじくプラスチック



先端高分子
化学研究室

審査員長 滝沢 泰久教授 関西大学 環境都市工学部
副審査員長 潮 尚之氏 ITPC 代表
及部 一堯氏 NTT西日本 総務人事部 プロフェッショナル人材戦略部門 担当部長
宮城 圭介氏 THE SEED Venture Capitalist

SFinX2024 最終審査会 結果

最優秀賞

チーム名 **Orange**

プラン名 Re:peco～
咀嚼音による食感の再現と咀嚼、嚥下機能の
リハビリを実現する機器・サービスの提供～



優秀賞

受賞	チーム名	プラン名
優秀賞	テル	TERU
	オイル シスターズ	次世代服が叶える エシカルな生活
協賛企業賞		
アイ・ エレクトロライト賞	オイル シスターズ	次世代服が叶える エシカルな生活
ソフト産業プラザ テックス TEQS賞	りんごあめ	話せる自分と 出会おう
パーソルAVC テクノロジー賞	ゼロ	思い出は、 もう逃さない
桃谷順天館賞	シーマニア	すくすく
オーディエンス賞	ゼロ	思い出は、 もう逃さない

その他、Intelligent Style株式会社より協賛、吹田市より後援をいただきました。

イノベーション 創出に向けたセミナー

研究開発型ベンチャー創出への理解を深めるセミナー。最終審査会に向けてアイデア創出やプレゼンスキルアップを目的としたワークを行いました。

- 第1回 5月31日(金)

【テーマ】ベンチャーって何? ベンチャーへの理解を深めよう!
〈講師〉ITPC 代表 潮 尚之氏
- 第2回 6月13日(木)

【テーマ】ビジネスアイデア創出
〈講師〉株式会社Co-learning 代表取締役 竹枝 正樹氏
- 第3回 7月11日(木)

【テーマ】プレゼンテーションスキルアップ
〈講師〉株式会社Co-learning 代表取締役 竹枝 正樹氏



Innovator's Talk vol.35

2024年10月17日(木) 16:30~18:00 場所／関西大学イノベーション創生センター1階レセプションスペース

株式会社小国士朗事務所
代表取締役
小国 士朗氏



2003年NHKに入局。ドキュメンタリー番組を制作するかたわら、150万ダウンロードを記録したスマホアプリ「プロフェッショナル 私の流儀」の企画立案や世界150か国に配信された、認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」などをてがける。2018年6月をもってNHKを退局し、現職。
“にわかファン”という言葉を生んだ、ラグビーW杯のスポンサー企業アクティベーション「丸の内15丁目Project.」やみんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト「deleteC」、高齢者が地域のサッカークラブのサポーターになって心身の健康を取り戻す「Be Supporters!」など、幅広いテーマで活動を展開している。著書に「笑える革命 〜笑えない社会課題の見え方が、ぐるりと変わるプロジェクト全解説〜」(光文社)他。

起業サポートシリーズ2024秋学期

Innovator's Talk vol.36

企業見学会

▶ 現在企画進行中! 詳細は、決まり次第 SNS・チラシ等でお知らせします。

2025年度関西大学GAPプログラム(KUGAP)募集開始!



関西大学では、本学の研究成果をもとに起業や事業化を目指す萌芽の取り組みに対して支援し、新しい社会的価値の創出や広く社会的課題の解決に寄与することを目的とし、「関西大学GAPプログラム(KUGAP)」を2023年度よりスタートさせました。

本学教職員や大学院生が事業化に向け、研究と事業化との間のギャップを埋めるためのPoC(Proof of Concept:概念実証)の取得、プロトタイプ製作、実証実験、さらには市場調査などを行う際に必要な費用に対し、最大300万円を助成する制度です。

支援対象：本学専任教育職員・大学院生

募集期間：2024年9月21日(土)~2024年10月31日(木)

助成額：上限300万円

助成期間：原則2025年4月~(最大1年間)



入居ベンチャーの活動報告

▶ ORAM株式会社が、大阪市が認定する「大阪トップランナー育成事業」の認定プロジェクトに採択されました。

▶ ORAM株式会社が、公益財団法人大阪産業局 ソフト産業プラザTEQS「令和6年度5Gビジネス開発補助金」に採択されました。



▶ 株式会社KUREiが、国土交通省「SBIR建設技術研究開発助成制度」に採択されました。

▶ 株式会社Phindex Technologiesが、6月14日に開催されたデロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社主催「第198回 Morning Meet Up (モーニングミートアップ)【大阪】」に登壇しました。

▶ 株式会社イノカ 代表取締役CEOである高倉葉太氏が、「FORBES JAPAN 30 UNDER 30 2024「世界を変える30歳未満」30人」の特別賞の一人に選ばれました。

学生コミュニティ

「Mission Lounge」活動報告

このアワードは、世界を変革する若きイノベーターを応援するプロジェクトで、日本では2018年にスタートし、今年で7年目となります。平井さんは、在学中の2023年5月にNPO法人「CoCoTELL」を設立し、精神疾患の親をもつ子ども・若者を対象とした、オンライン上での居場所づくりや、個別の相談支援を行っています。社会課題解決に向けて活動する姿勢を評価され、この名誉ある賞にノミネートされました。

Mission Loungeに所属する社会安全学部の平井登威さんが、「FORBES JAPAN 30 UNDER 30 2024「世界を変える30歳未満」30人」の一人に選ばれました。



編集後記

みなさんの人生が変わる「キッカケ」はなんでしょうか。私は恩師から「現状維持は衰退だ」という言葉を受けたときで、なにごとも改善・革新できるように物事に取り組みたい思考に変わりました。なにがその人の「キッカケ」になるか誰もわかりませんが、このイノベーション創生センターの活動ではみなさまの研究・活動支援をはじめ、学内のアントレプレナーシップ醸成を目的としたイベントを企画・運営しており、みなさんの「キッカケ」となるかもしれない活動を実施できると私は考えております。みなさんの「キッカケ」づくりや人生のターニングポイントとして「はじまりの場所」となれるようにより一層充実した活動内容を展開できるように尽力していきたいと思います。

(研究支援・社会連携グループ 百目木 康平)

関西大学 イノベーション創生センター
Kansai University Center for Innovation & Creativity

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL06-6368-1250 FAX06-6368-1237
E-mail: kucic@ml.kandai.jp https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/innovation/index.html

発行日/2024年9月21日 発行/関西大学 イノベーション創生センター

関西大学 イノベーション創生センター は、学問分野の枠組みを越え、教員・学生・企業技術者との対話や交流を実現し、本格的なイノベーション創出の拠点を目指します。

関西大学イノベーション創生センターの『今』をご紹介します!

